

## 8 & 9. 上野 伶華氏、中村 翔氏 (北九州市立高校)

「雰囲気良く、思いやりのある人が多いまち。良い文化は残して欲しい。」



2年 上野 伶華 (うえの れいか)

北九州市出身。

家族や友人、このまちを愛する気持ちが人一倍強い。幼少の頃から憧れる看護師を目指して勉学に励む。充実した高校生活を送っている。

2年 中村 翔 (なかむら かける)

北九州市出身。

将来の夢であるシステムエンジニアを目指して勉強中。そしていつかこの町で働いて暮らしていきたいと考えている。

### 「思いやりのある人が多い」

住んでいる地域は、おじいちゃんおばあちゃんが自分に対してわが子のように接してくれ「学校どうだった？」というようなことを聞いてくれる良い雰囲気があります。友達も優しく、思いやりがある友達が多いです。他人を思いやりたり他人を優先したりといった人が多いというのは、世代を問わず感じることです。

### 「さらに明るい雰囲気を伝えられるように」

地域の人の温かい雰囲気は良いのですが、街灯が少ないエリアは、夜すごく怖いと感じます。住んでいる地域でも、夜いきなり陰から「おかえり！」と言われ驚いてこけてしまったことがあります。街を物理的に明るくすることで雰囲気もさらに明るくなるのではないのでしょうか。魚町の商店街は明るいですが、少し離れると暗くて治安が悪いというイメージがあります。薄暗いというのは人間の心理的にも良くないイメージを抱くと思います。北九州市は治安が悪いイメージを抱かれがちですが、「そんなことないよ」と思ってもらえる取組があれば、経済的にも良い方向に行くのではないのでしょうか。

### 「ごみのない綺麗なまち」

北九州市では、食品ロス削減の取組である「残しま宣言」を道徳の授業でやっています。

北九州市は綺麗でごみがないし、ごみ箱も多いと感じます。ESS(部活動)で海外の人の意見を聞く機会もありますが、彼らからも北九州市はごみが少ないという意見を良く聞きます。以前見かけて驚いた光景として、ごみをポイ捨てしている人がいたのですが、そのそばから拾っている人がいたというのがあります。ごみ拾いはボランティアの方がたくさんいて、とても大切なことだと感じています。

### 「外国人にも、まちの魅力が伝わる工夫を」

以前、外国人の方に両替する場所を聞かれた際に場所が分からず困ったことがありました。駅は色々な人が集まるので、アジア系も含めた言語のデジタルサイネージを吊るすなど、良く来訪する国の方向けの設備を設けた方が良いのではないのでしょうか。

外国人の方は、食べ物や商業が集まっているのは小倉というイメージがあるようです。多言語対応の小倉のパンフレットを作り、こんなことができる、こんなものが食べられるということが伝えられれば良いのではないのでしょうか。

「福岡市といえば」といえる名所は屋台がありますが、北九州市はそのようなもののイメージが薄いと感じます。周遊コースの設定や“〇〇めぐり”のように、観光名所を分かりやすくすることで来訪する人が増えると思います。

### 「受け継ぐことが文化をつくる」

昔あったお店がどんどん潰れていったり、シャッター通りと言われるようになっていたり、コンビニやフランチャイズ展開されている店がたくさんできています。新しいものを取り入れるのは大事ですが、昔ながらの良いお店も残っていけるようにしてほしいです。受け継ぐことが文化をつくっていくと考えています。且過市場も残ってほしいです。伝統は、人と人のつながりから生まれていくものだと感じています。

#### ～中村さんのエピソード～

ずっと通っていた本屋が、跡継ぎがないためにつぶれてしまったという経験があります。電子書籍の普及によって本を買わない人が増えましたが、私は昔ながらの古本屋の香りが好きです。学校から帰ってサッカークラブに行くまでの間にその本屋に少し寄って、店長のおじいちゃんと話す、という習慣がありその方の人柄が優しくて気に入っていました。このような良いお店が残っていくためにできることはないかと考えたときに、学校のクラブ活動として運営の手伝いをしても良いのではないかと思いました。当校でいうインターアクトクラブや図書部活動の一環として既に行っている読み聞かせのボランティアに加え、若い人にまちの良い本屋を知ってもらうためにも良い仕組みではないかと思えます。

#### ～上野さんのエピソード～

私はもともと小倉南区に住んでいました。久しぶりにかつて住んでいた地域を訪問した際に感じたこととして、「この公園はまだあるんだ」などと当時の景色を嬉しく思う一方で、マンションが建って景色が変わってしまったところもありました。公園のような、みんなの憩いの場は残って欲しいなと思います。おじいちゃんおばあちゃんがお話ししていたりする場が好きであり、そのような場所ができるだけ残

っていて欲しい。他にも“友達と遊んだ”、とか“ここで〇〇ができるようになった”、という場所は残ってほしいです。まちはちょっとずつ変わっていくものかもしれませんが、そのような場所が残っていれば、もしも自分に子どもができたときには連れて行きたいと思っています。

### 「手間や危険を排除するのは良いことか」

デジタル化の進展で、手間がかからないこととは良いことであるという風潮がありますが、必ずしもそうではないのではと思うこともあります。例えば、ロボットの犬と比べて本当の犬は手間がかかって大変なこともあります。生きた感情があるように、手間がかかることでしか得られないものがあります。その反面、生きものには死があります。別れは何度繰り返しても慣れず、悲しいことだけれど、生きていく中で大事なことだと思っています。

公園の遊具も危ない、管理が大変という理由で撤去されています。安全や最近の風潮を重視しすぎて、楽しくない社会になっていっているのでは？と思うこともあります。

### 「古き良きものをつないでいく」

授業の中で北九州市ふるさとかるたをやるがありますが、そのような取組も大切だと思います。

新しいことも取り入れつつ昔のこともつないでいく、良い雰囲気を大切にできるまちならば住み続けたいと思います。まちの中の一つ一つの店が輝けるようにしてほしいです。